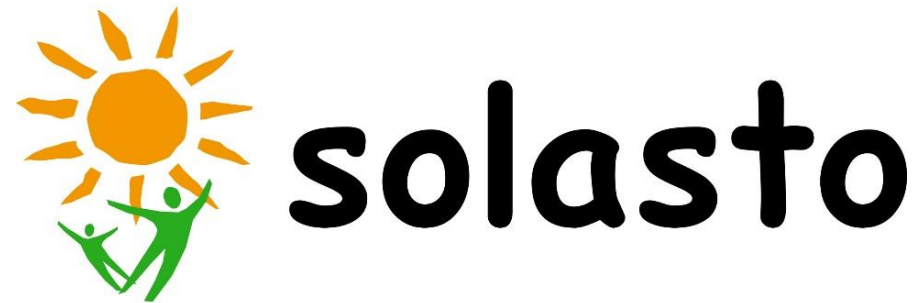




FY2025 Q1 決算説明資料

2025年 8月 13日

株式会社 ソラスト

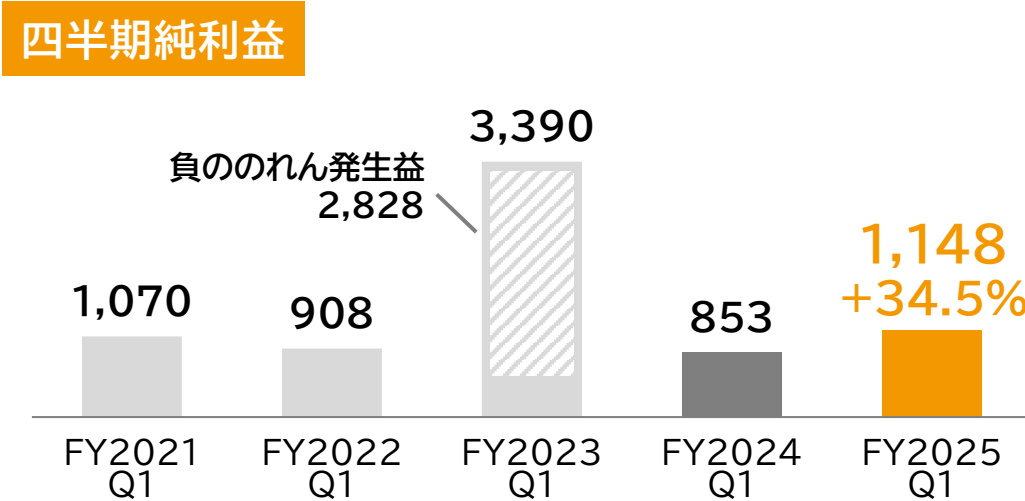
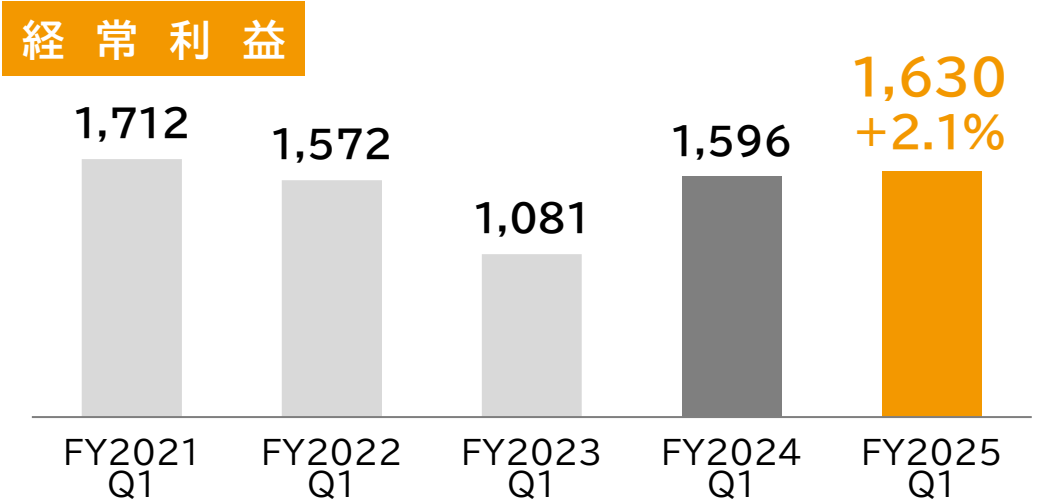
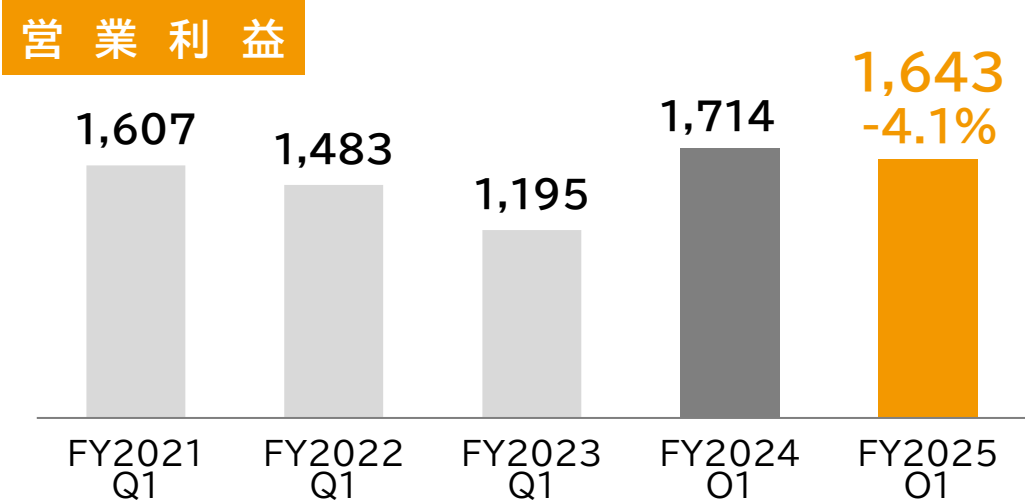
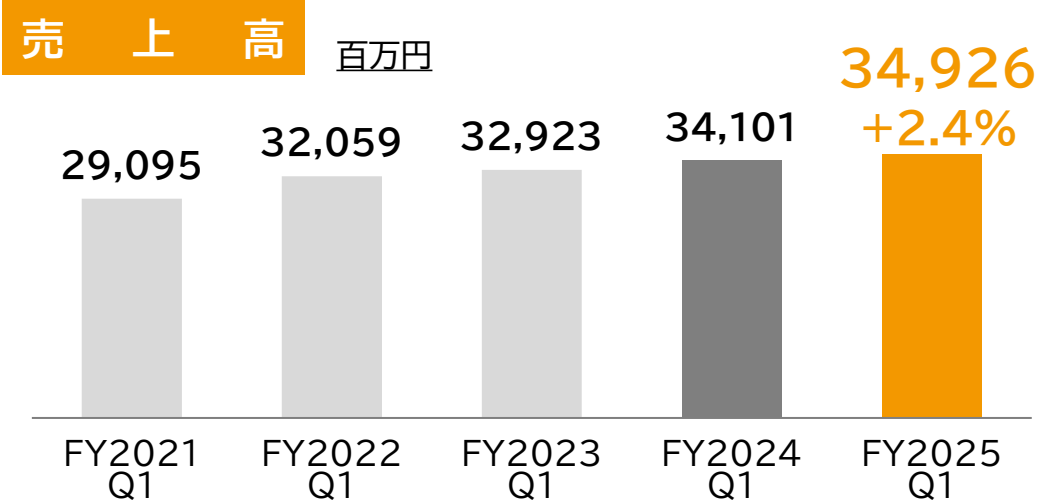
01

FY2025 Q1 決算概要

業績ハイライト



- 売上高: 四半期過去最高の349億26百万円(前年同期比2.4%増収)
- 営業利益: 計画通りの処遇改善強化や次世代IT基盤への刷新を含む新規IT投資により前年同期比4.1%減
- 社内計画を上回り、好調なスタートを切った



セグメント別 業績ハイライト



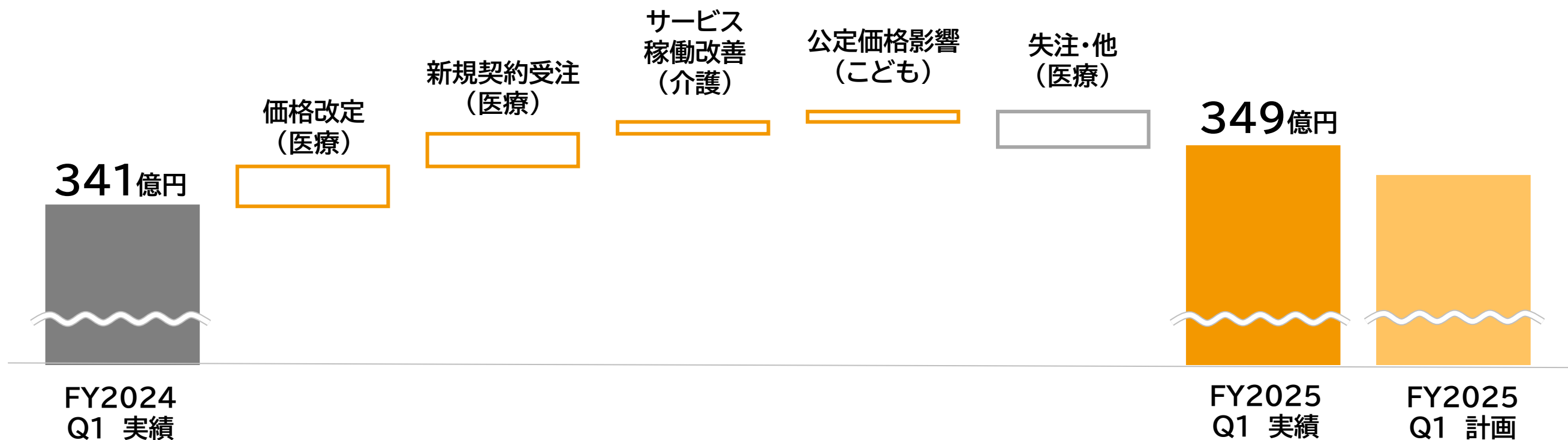
- 医療事業・介護事業・こども事業がいずれも好調なスタートを切り、全事業で増収を達成した
- 医療事業・こども事業は当初想定通り減益となるも、全事業が計画を上回る営業利益で着地した

百万円	売上高				EBITDA ()はEBITDAマージン				営業利益 ()は営業利益率			
	FY24 Q1	FY25 Q1	YoY	YoY (%)	FY24 Q1	FY25 Q1	YoY	YoY (%)	FY24 Q1	FY25 Q1	YoY	YoY (%)
医療事業*	17,785	18,310	+524	+3.0%	1,217 (6.8%)	1,096 (6.0%)	-121 (-0.9p)	-10.0%	1,130 (6.4%)	1,001 (5.5%)	-129 (-0.9p)	-11.4%
介護事業	13,763	13,925	+162	+1.2%	1,083 (7.9%)	1,253 (9.0%)	+170 (+1.1p)	+15.8%	529 (3.8%)	706 (5.1%)	+177 (+1.2p)	+33.5%
こども事業	2,540	2,678	+138	+5.4%	175 (6.9%)	57 (2.1%)	-117 (-4.8p)	-67.3%	52 (2.1%)	-66 (-)	-118 (-)	-

*2025年度より「スマートホスピタル事業」を「その他」から「医療事業」に変更。2024年度の実績に2025年度のセグメント変更を反映した参考値を用いて前年比較を実施。

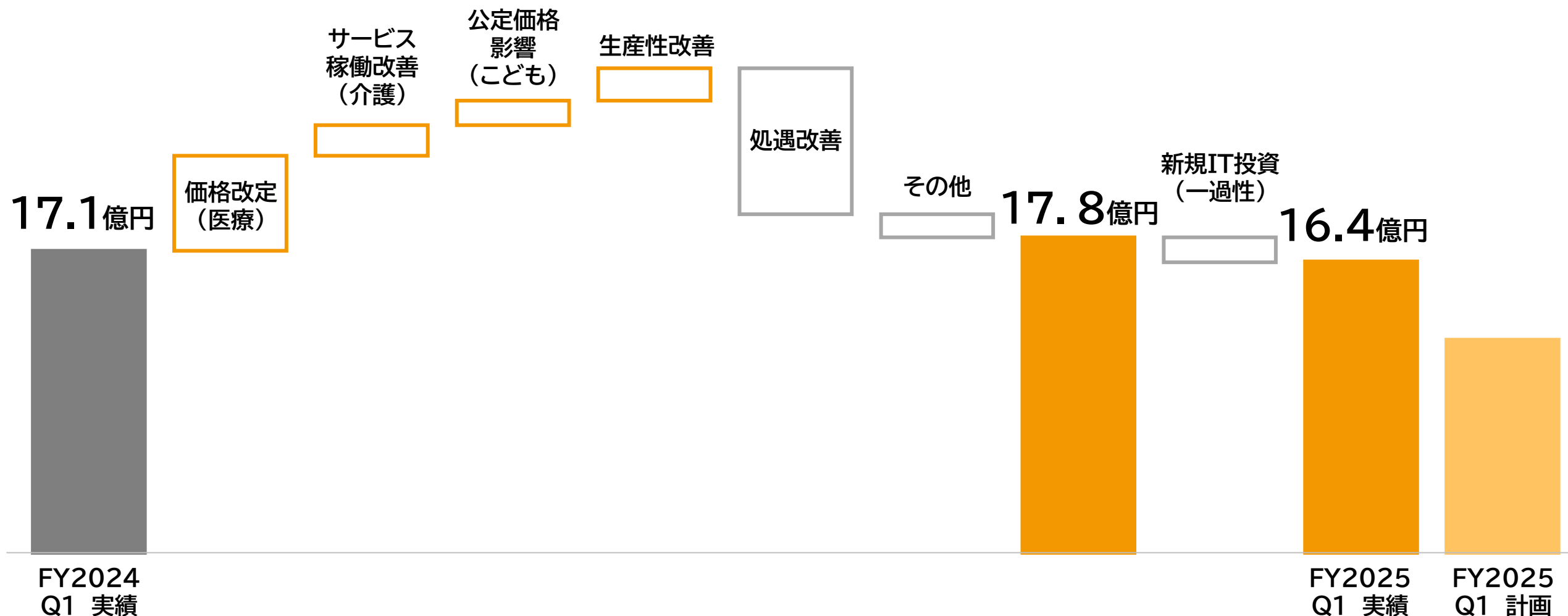
売上高 増減分析(Q1)

- 増収要因：医療事業の計画以上の価格改定および新規契約受注効果等
- 減収要因：医療事業で積極的な価格交渉を推進したことにより一部契約失注が発生



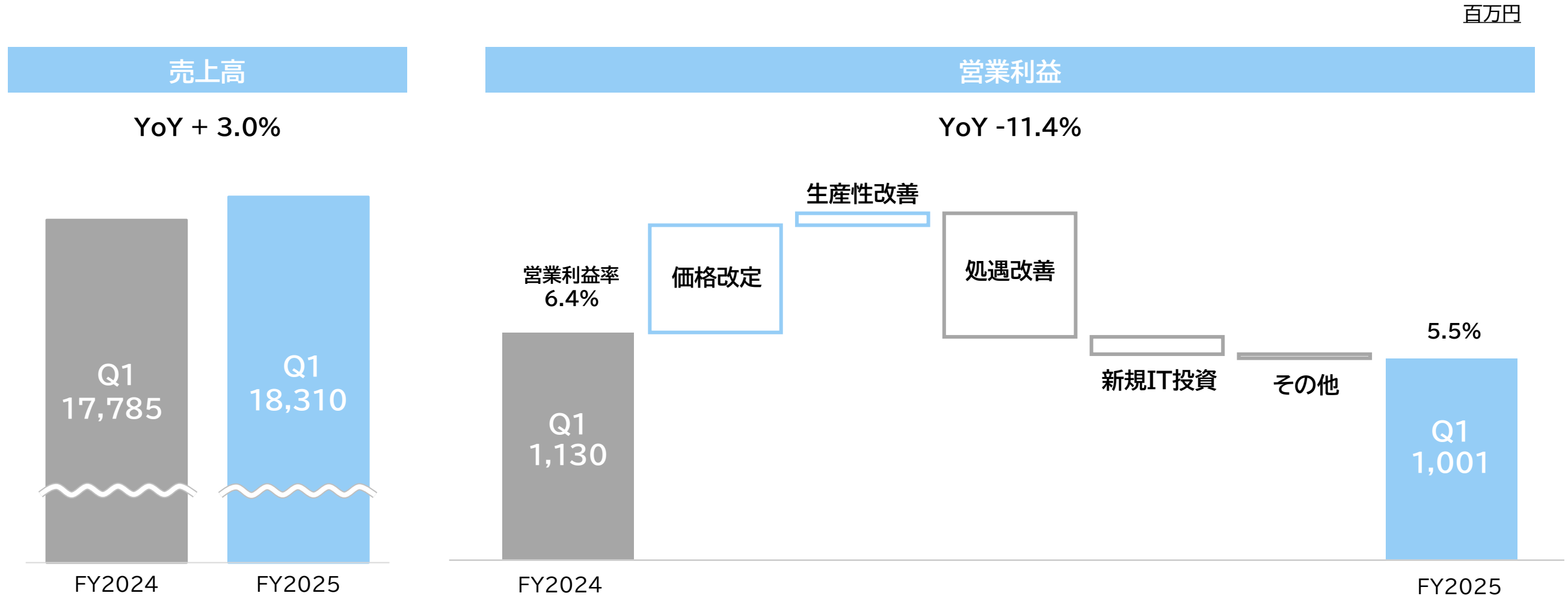
営業利益 増減分析(Q1)

- 増益要因：医療事業の計画以上の価格改定を中心とした増収効果等
- 減益要因：計画通りの処遇改善強化、新規IT投資(一過性)等



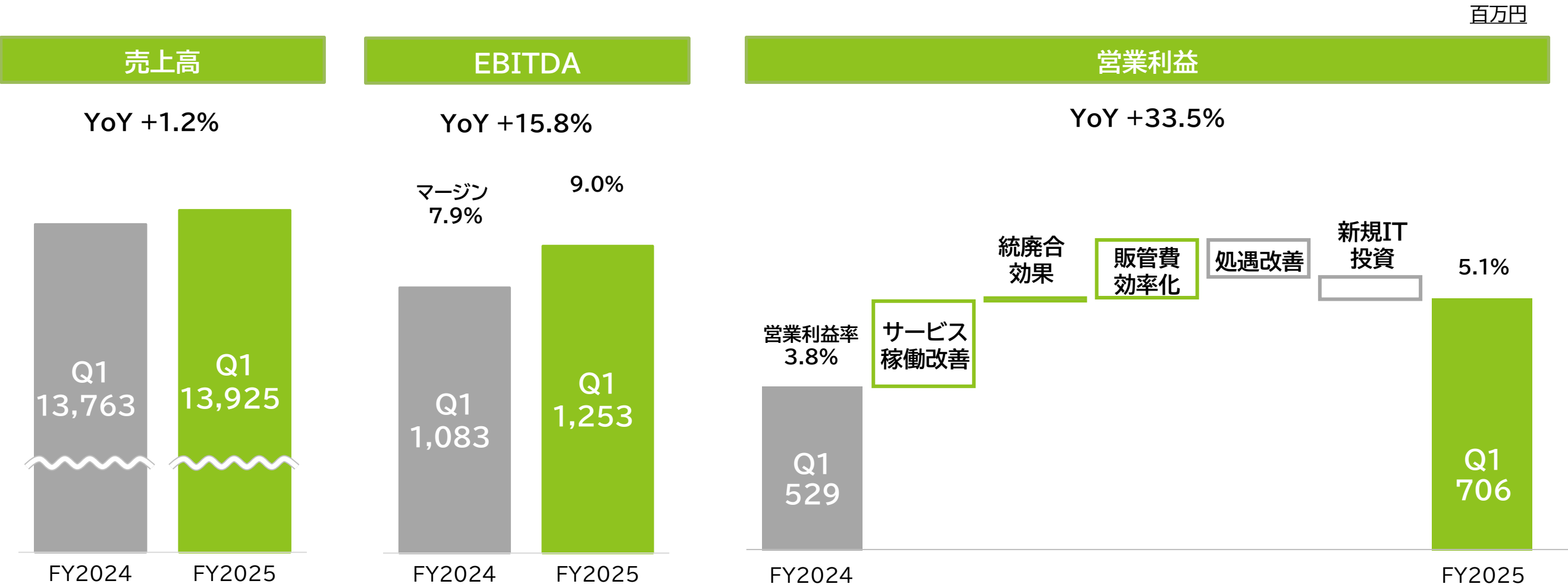
売上高: 価格改定交渉が計画を上回って進捗したこと等により前年同期比3.0%増

営業利益: 計画通りの処遇改善強化により前年同期比11.4%減



*2025年度より「スマートホスピタル事業」を「その他」から「医療事業」に変更。2024年度の実績に2025年度のセグメント変更を反映した参考値を用いて前年比較を実施。

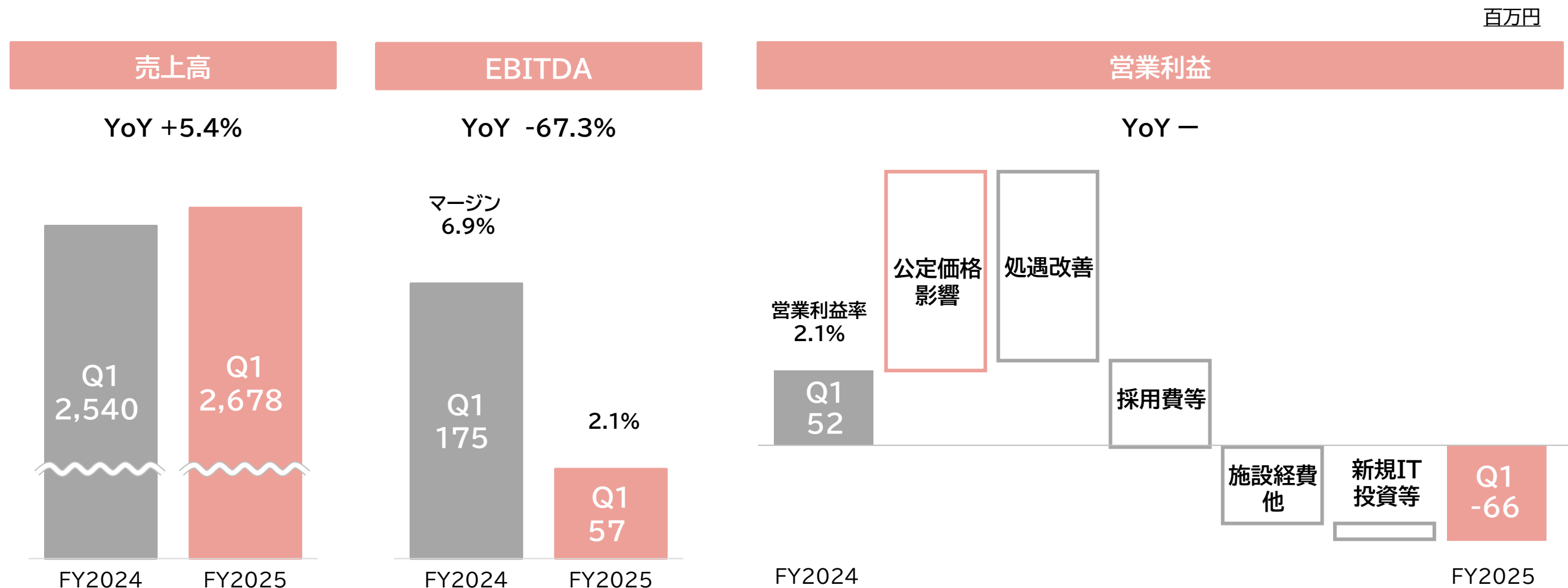
売上高: コロナ禍からの回復基調が前年より継続したことにより前年同期比1.2%増
営業利益: 増収による増益および各種販管費用の削減により前年同期比33.5%の大幅増



こども事業 セグメント別業績

売上高: 公定価格の改定に伴う単価の上昇等により前年同期比5.4%増

営業損失: 処遇改善、保育士の補充強化のための採用費増、水道光熱費等の施設経費増により、損失を計上



02

中期経営計画FY2025-2029の進捗

重点戦略

人口減少社会を見据えた「人的資本経営強化×テクノロジー」

医療事業

- ・ 次世代アウトソーシング事業育成
- ・ ソリューションビジネスの進化
- ・ 品質向上のための人材育成強化
- ・ 価格適正化と積極的な処遇改善

介護事業

- ・ 介護BPRによる収益性改善
- ・ サービス稼働率及び入居率改善
- ・ 厳選したM&Aの実行

こども事業

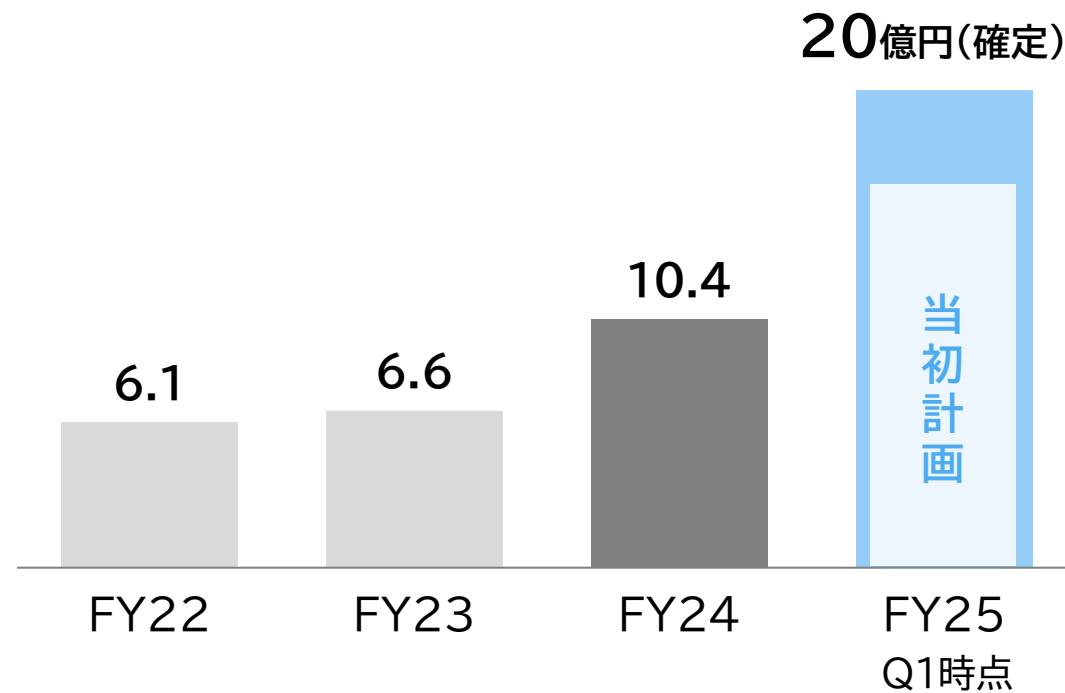
- ・ 保育の質の向上と差別化戦略
- ・ 社員定着・生産性向上の取り組み

全社施策

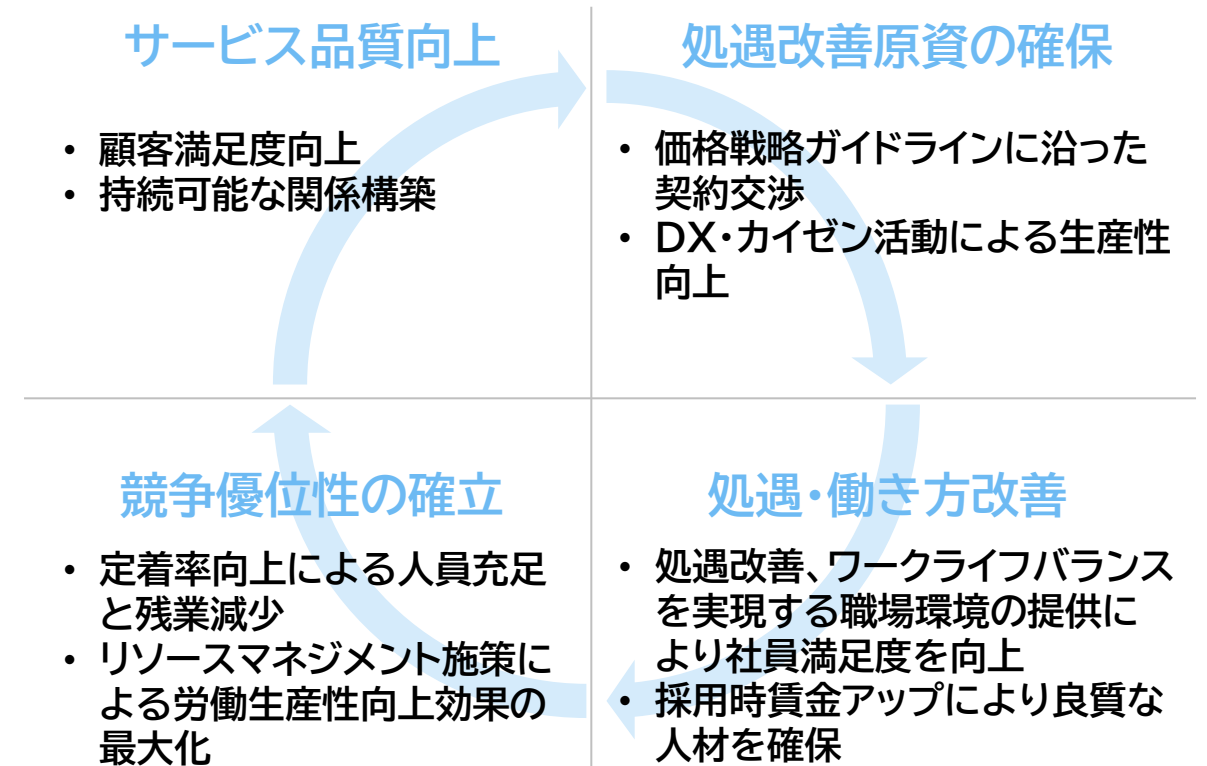
- ・ 次世代IT基盤刷新を含む新規IT投資
- ・ ESGの取り組みの深化
- ・ 健全な財務基盤の構築
- ・ 積極的な事業投資の推進

- 価格戦略ガイドラインに基づき、契約医療機関との価格交渉を積極的に推進した
- 当年度は計画を上回る価格改定を実施できており、現時点の増益効果は前年比約2倍の20億円が確定している
- 来年度以降は、価格改定の進捗に連動させ、持続的な収益成長と従業員への還元の両立を目指す

営業利益インパクト(通期)



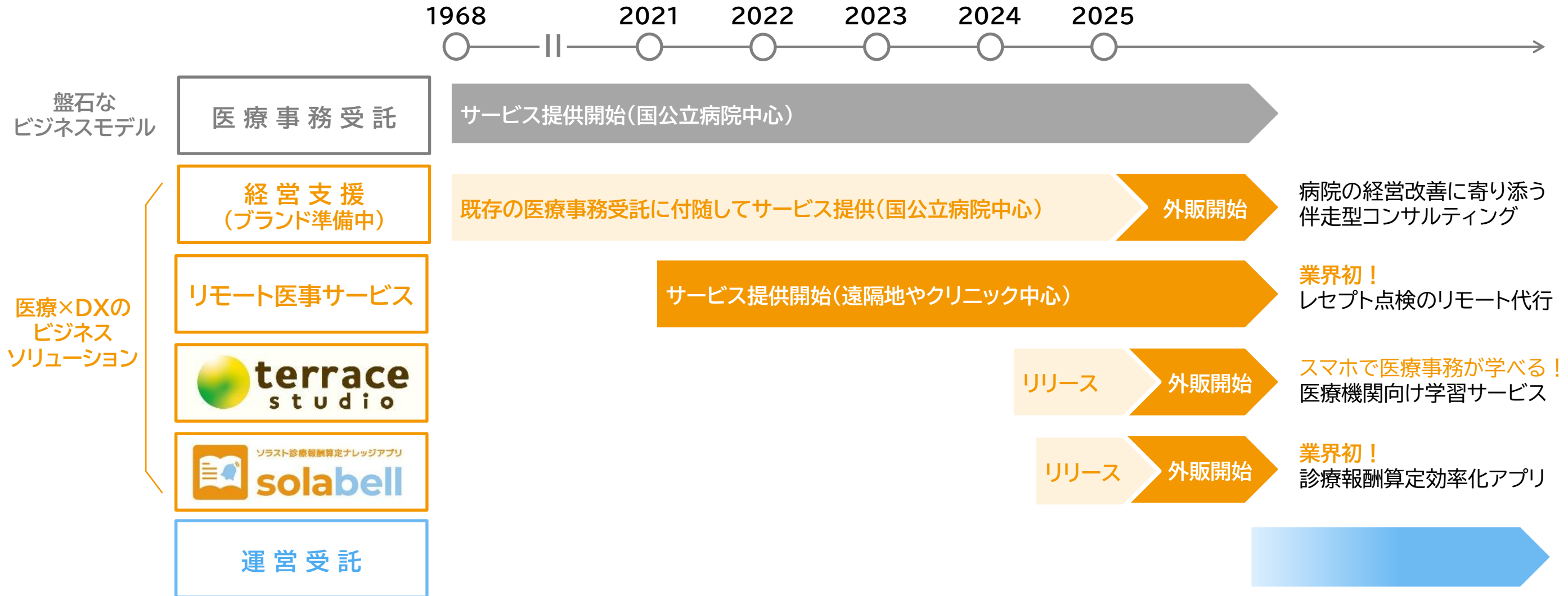
顧客満足と社員満足を向上させる好循環



(中期経営計画FY2025-2029再掲)

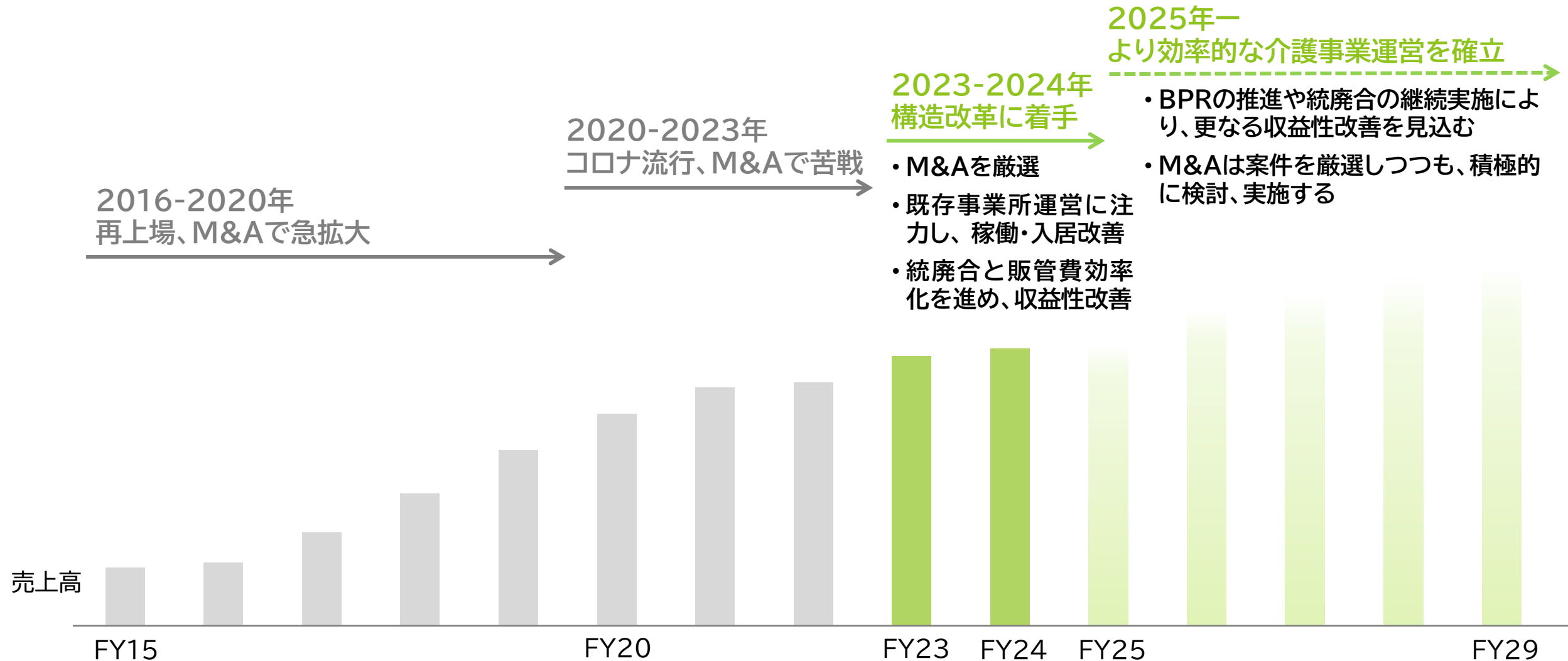
医療事業戦略：ビジネスモデルの変革

- この数年間で、民間病院・クリニックを主なターゲットとするビジネスソリューションを充実させてきた
- 従来の国公立病院を中心とした医療事務受託の事業者から、ソリューションプロバイダーへ変革を遂げている



介護事業戦略：成長ストーリー

- 既存事業所にリソースを注力することで、稼働率および入居率が改善した
- 今後は、BPR*を通じて、ソラスト流の効率的な介護オペレーションを確立していく
- M&Aは案件を厳選しつつも、積極的に検討、実施する



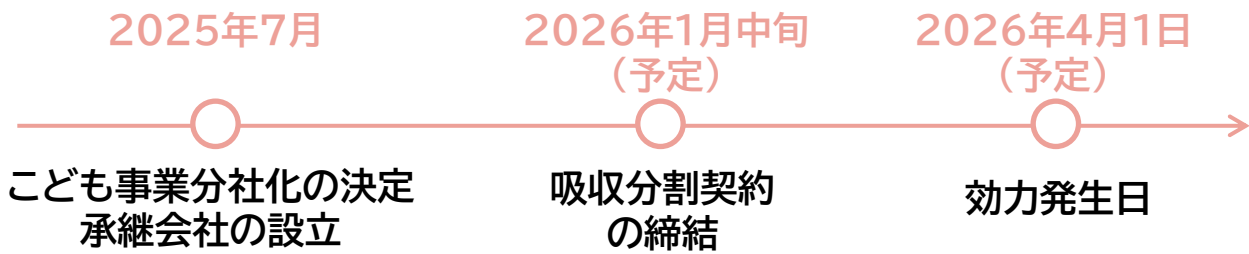
*BPR=Business Process Re-engineering(業務プロセス全体の最適化)

- 2026年4月1日付で、簡易吸収分割により、こども事業を新設の完全子会社へ分社化する
- 少子化や保育ニーズの多様化、保育士の確保・定着など、事業環境の急速な変化に対応する必要がある
- 分社化によって、現場主導で柔軟かつ迅速な意思決定と施策の実行を可能にし、保育サービスの質を更に高める

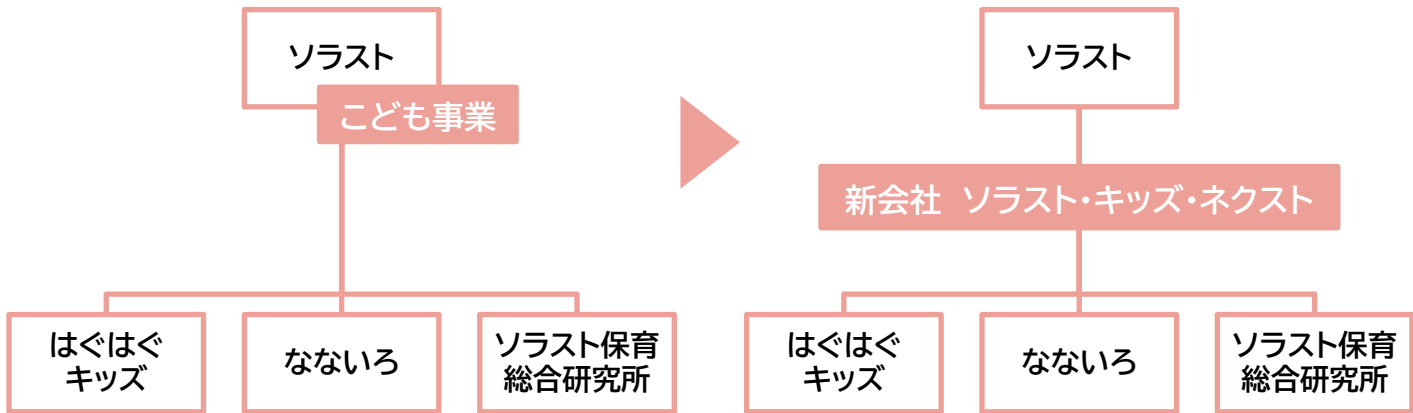
承継会社概要

名 称	株式会社ソラスト・キッズ・ネクスト
所 在 地	東京都港区港南2-15-3 品川インターシティC棟12F
代 表 者	家城 悦子
資 本 金	10百万円
設 立 年 月 日	2025年 7月 23日
事 業 内 容	認可・認証保育所の運営
大 株 主	株式会社ソラスト 100%

スケジュール



組 織 図

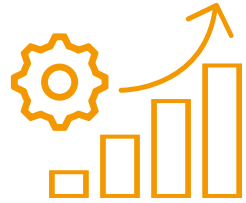


FY2025 新規IT投資の進捗

- 計画通り進捗しており、Q1では1.4億円(通期計画 5億円)の新規IT投資を実施した
- Google基盤への移行を順次開始しており、2026年3月から全面稼働を予定している

次世代IT基盤への刷新効果

1



業務を集約し効率最大化
BPRでムダと属人化を排除

2



チームでつながる働き方
クラウド×ゼロトラストで改革

3



AIで業務効率を加速
自社LLM*で現場に展開

4



現場主導の開発体制
内製力強化でコスト削減

新規IT投資の内訳(Q1)

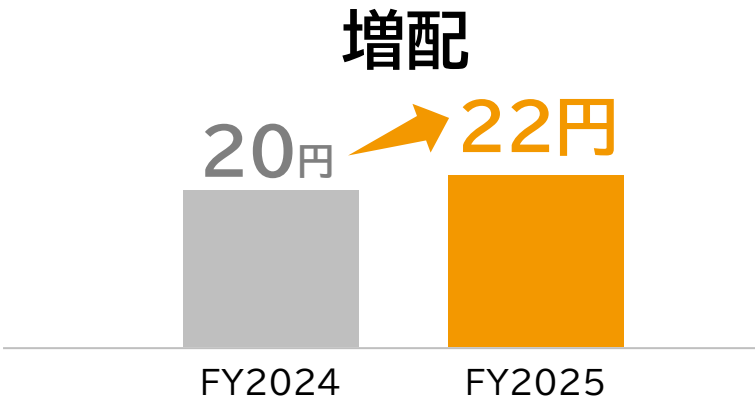
- Googleライセンス料(当年度は旧基盤ライセンスと重複)
- 医療DX推進(solabell追加開発、接遇向上システム開発)
- 介護BPR推進(生産性向上実現のための構想策定)
- 生成AIを活用した社内の問い合わせシステム開発

- 配当政策: 当期は年間で1株あたり22円の配当を実施する(当初計画より変更なし)
利益成長を通じた安定的・継続的な増配を目指し、株主への還元を強化していく
- 自己株式取得: 株主還元の拡充として、上限14億円、4.4百万株の自己株式取得を実施する
なお、取得した自己株式は、用途が見込まれない場合は適切な時期に消却する

新株主還元方針 (中期経営計画FY2025-2029再掲)

配当性向 50%超
総還元性向 70%超

1株当たり配当金 (中期経営計画FY2025-2029再掲)



自己株式の取得

取得株式の種類 普通株式

取得株式総数 上限 4,400,000株
(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合:4.8%)

取得価額総額 上限 1,400,000,000円

取得期間 2025年 8月 13日～2026年 5月 31日

取得方法 東京証券取引所における市場買い付け

Appendix

	FY2022	FY2023	FY2024	FY2025 Q1	FY2025 通期予想
ROE	15.2%	10.7%	18.4%	—	14.6%
ROIC	9.1%	7.9%	10.3%	—	—
WACC*1	6.1%	5.1%	5.9%	—	—
Net debt/EBITDA倍率*2 (倍)	1.5	1.5	0.9	1.1	—
D/Eレシオ*3 (倍)	1.2	1.4	1.0	1.0	—
フリーキャッシュフロー(百万円)	6,840	5,096	6,224	464	—
1株当たり当期純利益(円)	33.53	24.11	42.94	12.45	36.85
1株当たり配当額(円)	20.00	20.00	20.00	—	22.00
配当性向(連結)	59.6%	83.0%	46.6%	—	59.7%

*1 各年度3月末時点の推計値
*2 Net debt=有利子負債(リース債務含む)－現金及び預金
*3 D/Eレシオ=有利子負債(リース債務含む)/純資産

百万円	FY2022 Q1	FY2023 Q1	FY2024 Q1	FY2025 Q1	YoY(%)	FY2025 通期予想
売上高	32,059	32,923	34,101	34,926	+2.4%	139,450
EBITDA EBITDAマージン	2,280 7.1%	1,982 6.0%	2,478 7.3%	2,408 6.9%	-2.8%	9,000 6.5%
営業利益 営業利益率	1,483 4.6%	1,195 3.6%	1,714 5.0%	1,643 4.7%	-4.1%	6,000 4.3%
経常利益	1,572	1,081	1,596	1,630	+2.1%	5,800
四半期(当期)純利益	908	3,390	853	1,148	+34.5%	3,400

連結貸借対照表



百万円	2025年 3月末	2025年 6月末
流動資産		
現金及び預金	14,004	12,177
売掛金	14,983	15,410
その他	2,178	2,389
流動資産合計	31,166	29,977
固定資産		
建物及び構築物	8,881	8,747
土地	5,672	5,672
のれん	13,625	13,215
その他	10,751	10,652
固定資産合計	38,930	38,288
資産合計	70,097	68,265

	2025年 3月末	2025年 6月末
流動負債		
短期借入金	—	—
1年内返済予定の長期借入金	4,782	4,782
未払金(社員給与)	9,942	10,118
その他	7,637	6,791
流動負債合計	22,362	21,692
固定負債		
長期借入金	15,160	13,840
その他	9,890	9,828
固定負債合計	25,050	23,668
負債合計	47,412	45,360
純資産	22,684	22,905
負債純資産合計	70,097	68,265
(借入金)	19,942	18,622

連結キャッシュ・フロー計算書



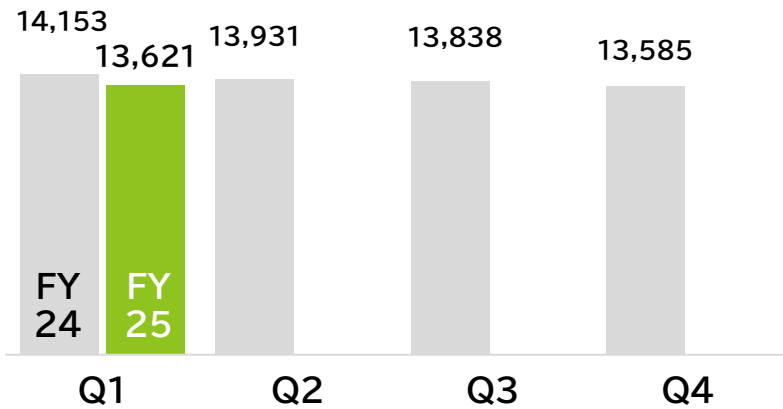
百万円	FY2024 Q1	FY2025 Q1
税金等調整前四半期純利益	1,596	1,940
減価償却費	350	354
のれん償却額	413	410
法人税等の支払額	-1,008	-1,271
その他	-1,660	-1,091
営業CF	-309	343
有形固定資産の取得による支出	-145	-55
無形固定資産の取得による支出	-192	-124
金銭の信託の解約による収入	1,107	—
投資有価証券の償還による収入	—	310
その他	117	-9
投資CF	887	121

	FY2024 Q1	FY2025 Q1
短期借入金(借入-返済)	-500	—
長期借入金(借入-返済)	-1,320	-1,320
配当金の支払額	-916	-918
その他	-50	-53
財務CF	-2,786	-2,291
現金及び現金同等物の増減額	-2,208	-1,827
現金及び現金同等物の期首残高	15,115	14,004
現金及び現金同等物の期末残高	12,907	12,177
フリーキャッシュフロー	578	464
(償却合計)	763	765
(設備投資)	237	140
(M&A投資)	—	—
(投資合計)	237	140

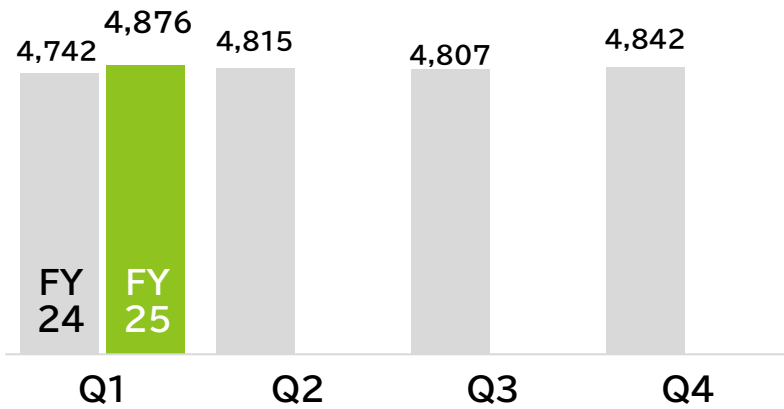
介護事業 サービス利用状況(6月末時点)



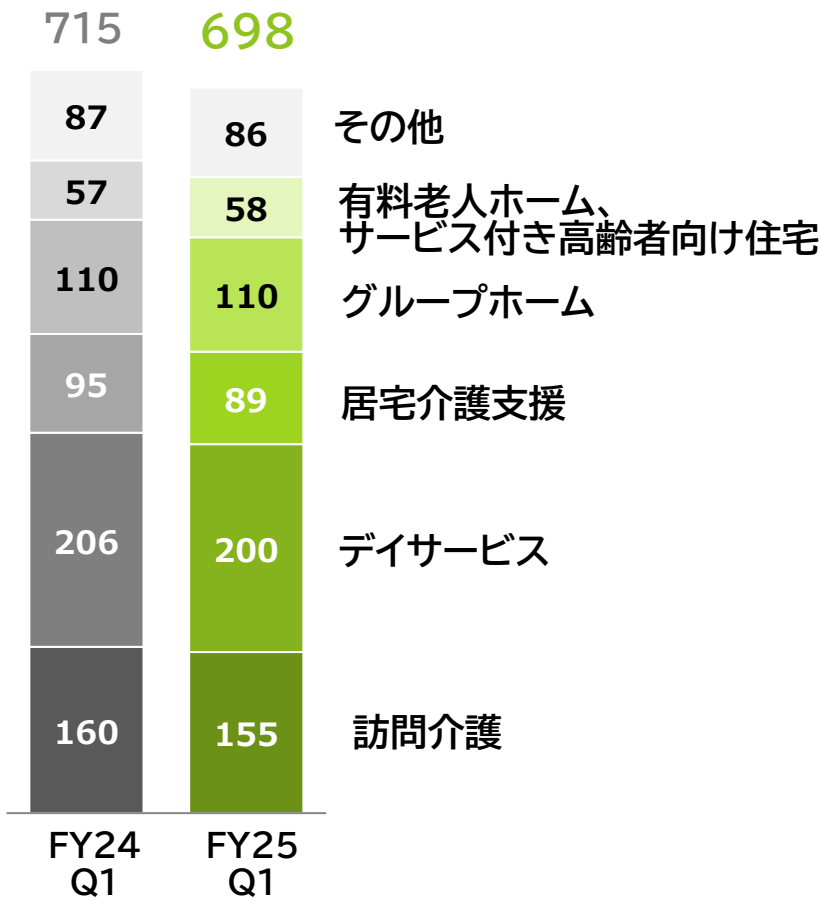
訪問介護利用者数(人)



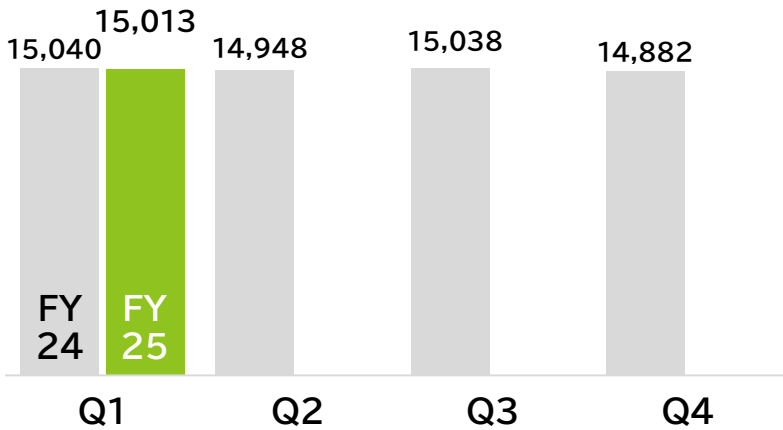
施設系サービス*1入居者数(人)



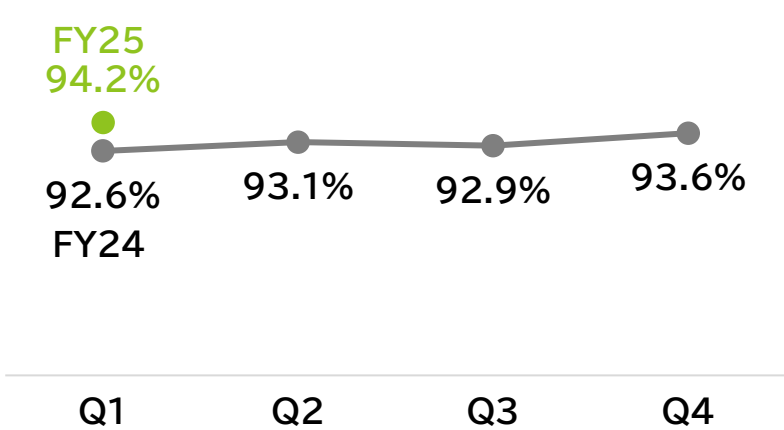
施設数(ヶ所) *2



デイサービス利用者数(人)



施設系サービス月末入居率



*1 グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅
*2 上記のほかフランチャイズが24ヶ所

－ 免責事項

本資料に含まれる将来に関する記述は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

－ お問い合わせ先

株式会社ソラスト(証券コード:6197) 管理本部 経営企画部 IR広報グループ
〒108-8210 東京都港区港南2丁目15番3号 メール:ir@solasto.co.jp

－ ホームページ: <https://www.solasto.co.jp/>



IRメールマガジン

最新の適時開示等の当社IRに関する情報を配信しています。

✉ ご登録はこちらから

